

# 出張報告

報告日 令和4年10月26日

会派名	柏崎の風
報告者氏名	柄沢 均
種別	<input type="checkbox"/> 調査研究（ <input type="checkbox"/> 行政視察） <input checked="" type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 各種会議
用務	第17回全国市議会議長会研究フォーラム in 長野
日時	令和4年10月19日(水) ～ 令和4年10月20日(木)
場所 (会場)	ホクト文化ホール（長野県長野市若里1丁目1-3）
調査項目等	デジタル化が開く地方議会の未来
概要	<p>第1部 基調講演「コロナ後の地域経済」 【富山 和彦】(株)経営共創基盤（IGPI）グループ会長 (株)共創プラットフォーム（JPiX）代表取締役社長 ・日本経済復興の本丸はローカル経済圏、中堅・中小企業圏</p> <p>第2部 パネルディスカッション 「地方議会のデジタル化の現状・課題と将来の可能性」</p> <p>○コーディネーター 【■■■■】毎日新聞社論説委員 ・令和3年、委員会等をオンラインで開催した市議会は17.4% ・委員会等のオンライン開催に係る会議規則、委員会条例の改正を行った市議会は9.4%</p> <p>○パネリスト 【■■■■■】早稲田大学電子政府・自治体研究所教授 ・2040年デジタル日本の社会構造・課題（問題意識）はデジタルを活用して改善 ・急速なデジタル化とアフターコロナの日本（現状認識）は最後のチャンスであり、絶好のチャンスである 【■■■■■】東京大学先端科学技術研究センター教授 ・市民からのアクセスが容易なデジタル化は不可欠、議会だけ遅れるのはまずい</p>



【■■■■■】 明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授

- ・危機に強い議会の構築、議会に何らかの制約で出席できない議員をできるだけ減らし、民意を反映することがオンライン化でできる

【寺沢 さゆり】 長野市議会議長

- ・市民と議会の意見交換会のオンラインで開催、委員会のオンライン開催の導入を先進地に声をかけて進めている

### 第3部 課題討議「地方議会のデジタル化の取組報告」

○コーディネーター

【■■■■■】 慶応義塾大学大学院

システムデザイン・マネジメント研究科教授

○パネリスト

【金澤 克仁】 取手市議会議長

- ・50回を超える公式な委員会の開催、事前説明による議案の理解度向上、現場視察等をオンラインで実施

【板津 博之】 可児市議会議長

- ・議会報告会の在り方を見直し、各委員会での関係団体との懇談会、意見交換会を進め、完全オンライン議会報告会を開催

【林 晴信】 西脇市議会議長

- ・視察、議会と語ろう会、予算公聴会のオンライン実施



### 所感等

長野市において、正副議長をはじめとする市議会議員等 2,036 名もの参加となった第 17 回研究フォーラムに、柏崎市議会から正副議長の 2 名で出席した。

第 1 部の基調講演は、柏崎市の政策推進事業において政策コンサルティングを委託している㈱経営共創基盤の富山和彦氏からであった。GDP の 7 割、雇用の 8 割がローカル経済圏、中堅・中小企業経済圏にあるという話を伺った。地方経済の知識や地域 M A A S 事業者としての手腕を基に、本市での取り組みそしてその成果に期待したい。

第 2 部のパネルディスカッションでの冒頭に、コーディネーターから委員会等のオンライン開催に係る会議規則、委員会条例の改正を行った市議会は 9.4% と説明があった。柏崎市議会では本年 3 月に会議規則、委員会条例の改正を行っている。パネリストからの意見にもあるように、今後は実際に運営ができるのか、練習を行うことが必要となる。新デジタル社会の形成に、強力な政治リーダーシップにより、地方の経済格差、情報格差を解消しなければならない。議会からデジタル化を発信し、議会 D X を進めていきたいと思う。

第 3 部の課題討議では、先進地である 3 つの市議会からのデジタル化の取組報告があった。それぞれ議会改革の取り組みに積極的な議会である。委員会、事前説明、現地視察、意見交換会等をオンラインで開催している。また、オンライン本会議にまで踏み込んだ提案や、「事前説明」など参考にすべき事例があり、刺激を受けた。

デジタル化、オンライン化はツールであり目的ではない。効率化と共に多くの民意を集約できるかを考え、柏崎市議会が進むべき議会 D X は何かを考え、今後も取り組んでまいりたい。